

コロラド州：小麦作柄と気象状況 2009年5月24日現在

概況 コロラド州の2009年5月24日に終わる1週間の気象は、平年以上の降雨を伴う高温気象となった。平均気温は平年を8度F上回った。州東部を中心とした穀倉地帯には待望の降雨があった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.5日(前週:6.6日)であった。降雨があったが高温気象の為、州平均の土壌水分は前週より減少した。2009年産冬小麦は94%が節間成長期に入り、50%(昨年:39%、5年平均:58%)が出穂した。生殖生長に入った小麦には十分な土壌水分が必要であり、今後の降雨の有無が小麦の単収に大きな影響を与える。冬小麦の作柄は昨年より良好であり、USDAの5月1日付け生産予想では、コロラド州産冬小麦の単収は、昨年実績より2ブッシェル多い32.0 bu/acreであった。同州の冬小麦の作付面積は2008年産より21%増加しており、生産量は昨年比で29%増の57,400,000ブッシェルと予想された。

土壌水分(*)

(%)		Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	3	24	67	6
	Last week	2	25	69	4
	Last year	26	44	28	2
Subsoil	This week	12	29	54	5
	Last week	6	28	60	6
	Last year	23	47	28	2

冬小麦生育状況(*)

(%)	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Avg.
Jointed	94	88	96	97
Headed	50	24	39	58

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	6	20	52	21
Last week	1	7	20	47	25
Last year	18	30	35	16	1

(*) Source : National Agricultural Statistics Service, USDA-Colorado Field Office. 5-yr avg. means average of 2004,2005,2006,2007 and 2008.